

横手市議会定例会
市長所信説明

平成29年12月

横手市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら} ^{かがや} たくましくよこて

基本計画 政策・施策

政策1

【健康福祉】

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

【施策 1-1】 子育て支援の充実

【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進

【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進

【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実

【施策 1-5】 低所得者福祉の充実

【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成

政策2

【教育文化】

学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます

【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備

【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進

【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進

【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見

政策3

【生活環境】

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全

【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進

【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進

【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進

政策4

【産業振興】

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興

【施策 4-2】 活気ある商業の振興

【施策 4-3】 活力ある工業の振興

【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信

【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5

【建設交通】

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現

【施策 5-2】 快適な移動空間の実現

【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実

【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化

【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理

【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備

政策6

【市民協働】

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり

【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備

【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進

政策7

【行政経営】

横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます

【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立

【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

目 次

1. はじめに	1
2. 平成30年度予算編成方針について	4
3. 平成29年度事業等の進捗状況について	6
(1) 自然災害及び農業被害への対応状況について.....	6
(2) 「秋田県未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト」について.....	9
(3) ホストタウンの推進について.....	10
(4) ねんりんピック秋田2017について.....	11
(5) 障害者支援施設の指定管理者制度の導入について.....	11
(6) 農作物の作柄概況について	12
(7) 雪対策について.....	15
(8) 横手市公共温泉施設の民間譲渡に向けた取り組みについて	15
4. 補正予算について	16
5. おわりに	17
※行政一般報告編	18

平成29年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

この度の任期満了に伴う市長選挙におきましては、多くの市民の皆様からご支持を賜り、引き続き、横手市の舵取り役を担わせていただくこととなりました。市民の皆様よりいただきました期待と信頼にしっかりと応え、これまで頂戴いたしました様々のご意見、ご提案を横手の発展に繋げるべく、力の限りを尽くして職務を遂行する所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

また、この度、横手市議会議員にご当選された皆様にお祝いを申し上げますとともに、市の豊かな未来の実現に向けてご活躍されますことを、心より期待しております。

さて、私は、2期目の市政運営に当たり、1期目に掲げてまいりました「産業を育成し雇用創出する」「農地山林フル活用」「人口減少に歯止めを」「安全と安心に支えられたまちづくり」「活気あふれる充実した市民生活を」の5つの政策理念に加え、地域の活性化に繋がる集いの場を整備すべく、「にぎわいの創出」を6番目の

政策理念として位置付けました。

産業育成を掲げた第1の政策理念につきましては、これまで、地元企業の育成を目的とした入札制度改革やIT関連企業の立地優遇制度の創設などに取り組んでまいりました。今後は、更なる企業力の向上を図っていただくため、優秀な人材の確保や職業能力開発を積極的に支援してまいります。雇用の場の創出に直結する企業誘致活動につきましては、当市に進出いただいた企業や市内外の企業、関係者の皆様との固い信頼関係をもとに、個別企業の動向を素早く把握し行動に移すことで、結果に結びつけてまいりたい所存であります。

第2の政策理念につきましては、「農業創生大学事業」を軌道に乗せ、複合農業の推進と大規模農業経営者の育成、担い手確保に努めるとともに、戦略的な支援による強固な産地化を推し進め、日本一の複合農業産地となることを目指してまいります。また、災害被害の軽減に繋がる森林対策についても、継続して取り組んでまいります。

横手版総合戦略に位置付け、重点的に推進しております人口減少対策につきましては、子育て環境が整う当市の強みを生かし、子育て中の市民の皆様が豊かで充実した生活を送ることができるよう、更なる保育・教育環境の整備を促進するほか、若者の出会いの場や

機会の創出にも、積極的に取り組んでまいります。

ここ数年、全国的に発生頻度が高まっている異常気象や自然災害への対策につきましては、大雨災害に見舞われた当市にとりましても、非常に重要な課題と強く意識しております。“安全と安心に支えられたまち”を実現するためにも、豪雪対策も含めた社会基盤の整備や消防署再編などにより、防災・危機管理体制、消防機能の強化を図ってまいりたいと考えております。

活気あふれるまちづくりを目指す第5の政策理念につきましては、地域の特色ある活動を積極支援しながら、スポーツや地域の文化・伝統を通じた生涯学習活動を促進するとともに、女性の視点や発想を生かした施策を展開するため、女性が活躍できる機会を増やしてまいります。更に、市民の皆様を始め、当市を訪れる多くの皆様の利便性向上を目指し、交通インフラの整備やIT環境の拡充に努めてまいります。

なお、この度、私は、新たな政策理念として「にぎわいの創出」を掲げました。これは、人口減少や少子高齢化が進み、厳しい財政状況が続く当市ではあるものの、今ここにある豊かな自然や文化、資源を最大限、有効活用し、市民の皆様が横手に住む喜びを感じられる機会を創出することこそが、地域の誇りや郷土愛を育むことに繋がるものと確信しているからであります。2期目の市政運営に当

たりましては、十文字地域局周辺エリア等の開発を進めるほか、JR横手駅東口エリアの整備や防災機能を併せ持つ多目的総合施設の建設に関しましても、実現の可能性等について検討してまいります。

私はこれまでの4年間、市民の皆様や出身者の皆様が誇りと愛着を抱ける街づくりを進めるとともに、当市に住んでおられない皆様にも“住みたい街”として選んでいただけるよう、横手の底力を引き出し、地域の活力や知名度を高める様々な施策を展開してまいりました。横手を愛する皆様が、横手の未来を常に意識しながら持つ力を結集することで、全国の皆様にも愛され誇れる街が築かれるものと強く信じております。

これまで頂戴いたしました様々なご意見、ご提案に耳を傾けながら、これからの4年間、横手の豊かな未来の実現に向け、市民の皆様、議員の皆様とともに積極果敢に挑戦してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

2. 平成30年度予算編成方針について

平成30年度の当初予算編成に当たりましては、市の総合計画・総合戦略上の基本目標である「働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち」「安心して子どもを産み育てられ、みんなが

笑顔で住み続けられるまち」の実現を目指し、7つの政策、34の施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも積極的に取り組むよう指示したところであります。

特に重点的に取り組む事項といたしましては、これまでの「産業育成・雇用対策」や「若者・子育て世代への支援による人口減少対策」などに加え、新たに「災害に強い、安心して暮らすことのできるまちの実現」と「よこての特色を生かし、市民・民間と手をたずさえて、地域活力を共に創るまちの実現」の2項目を掲げました。これは、災害による被害拡大を防ぐ減災への取り組みや地域防災力の向上を推進するとともに、新たな地域づくり組織を立ち上げていく過程において協働意識の高揚を図り、地域の活力を地域づくりに如何なく発揮いただくことで、市の均衡ある発展を目指すものであります。平成30年度については、これら喫緊の課題に重点的に取り組み、持続可能な地域社会の構築に繋げてまいりたい所存であります。

来年度の歳入につきましては、普通交付税の合併算定替特例の終了3年目となり、今年度の決定額よりも更に5パーセント程度の減少が見込まれるなど、引き続き厳しい状況となりますが、財政調整基金を始めとする各種基金を積極活用することで、必要な一般財源を確保することとしております。

歳出につきましては、現在、重点的に取り組んでおります「農業創生大学事業」や「増田まんが美術館整備事業」における施設改修工事を完了させるほか、「十文字地域小学校統合事業」など大型事業の本格着工により、普通建設事業分で50パーセント余りの増額を見込んでおります。

限りある経営資源を有効活用し、効率的・効果的な施策の展開を図るためにも、前年度事業の行政評価結果に基づく施策の選択と集中を確実に推進し、市の豊かな未来につなげる平成30年度予算としてまいります。

3. 平成29年度事業等の進捗状況について

(1) 自然災害及び農業被害への対応状況について

7月の大雨災害に関する建物被害につきましては、半壊4棟（うち住家3棟）、床上浸水211棟、床下浸水442棟となりました。

また、9月20日にはダウンバーストと見られる突風が発生し、横手地域及び大雄地域において、住家の半壊4棟、一部損壊12棟、非住家の一部損壊等34棟の建物被害が発生しました。

あらためまして、被災された多くの皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

なお、住家半壊等の被害にあわれた皆様にはこれまで、復旧に向けた様々な支援制度等についてご紹介申し上げるとともに、お見舞金をお渡ししたところであります。

さて、7月の大雨災害に関する建設関連の復旧状況であります。被災した道路および河川のうち、比較的大規模で国庫負担申請を行った箇所につきましては、10月から11月にかけて計5次にわたる災害査定を受け、11月17日時点において、事業採択件数32件、総事業費は約6億1千万円となりました。

また、そのうち、特に甚大な被害に見舞われた大森地域の^{よりきがわ}寄木川の一部につきましては、原形復旧のみでは再度、被災する可能性があるため、河川形状の見直しや拡幅等の改良も併せて行う「災害関連事業」として、改良費を合わせた事業費約1億8千万円で採択を受けております。

今後も、道路、河川および都市公園などの公共施設の災害復旧工事について、着実な事業執行を図ってまいります。

なお、住宅が被災したことにより、11月15日現在も5世帯10名の皆様が市営住宅に一時入居されており、市といたしましても、引き続き支援してまいります。

また、被災された住宅の修復支援事業につきましては11月15日現在、計136件、額にして約4千百万円の申請がございますが、

未だ申請されていない方もおられることから、申請期間を12月末日まで延長し、被災された皆様の生活再建を後押ししてまいります。

次に、農林業関連の状況についてであります。本年は、春先から異常気象が続き、農業被害が大変多い年となっております。

5月15日の降ひょうでは、局地的に「さくらんぼ」や「りんご」などに970万円余りの被害が生じたほか、9月18日の台風18号及び9月20日の突風災害では、一部の地域で果樹の落果やパイプハウスの倒壊などが発生し、2千6百万円ほどの被害となりました。

農作物をはじめ、農地や農業用水路など農林業全般にわたり甚大な被害が発生した7月下旬の大雨災害においては、市単独の園芸作物災害復旧対策支援事業や農地農業用施設災害復旧事業、林道施設災害復旧事業について専決処分をさせていただき、早期に対策を講じたほか、国や県の災害対策事業などを活用しながら、営農再開及び継続に向けた取り組みを進めているところであります。

これから降雪期を迎え、雪害も懸念されるところではございますが、農業者の皆様が安心して農業を継続できるよう、関係機関との連携を密にしながら、復旧事業を確実に推進してまいります。

(2)「秋田県未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト」について

平成31年4月のリニューアルオープンを目指し大規模改修工事中の増田まんが美術館につきましては、建物内部の解体がほぼ終わり、新たな間仕切りやエレベーター取り換えなどの工事を進めております。

11月より本格着手いたしました展示工事については現在、マンガの蔵^{くら}展示室を中心とした電気設備及び空調・換気設備工事を行っており、3月末の進捗率35%達成を目標に工事を進め、平成30年11月末の完成を目指します。なお、長寿命化などを目的とした外装・外構等の工事につきましては、年度内に発注手続きを行い、雪解けを待って本格着手する予定であります。

また、美術館の移動特別企画展として、7月29日から10月29日までの3か月間にわたり、「増田の町並み」において「りぼんのふろく展」を開催いたしました。観光客やマンガファンの皆様を中心に、「親・子・孫」三世代の女性の皆様が来場する特徴的な企画展となり、総入場者が6,335人という盛況の中で終了しました。このような取り組みを継続することで、今後も「マンガ」と「町並み」の連携を充実させてまいりたいと考えております。

(3)ホストタウンの推進について

去る9月23日、インドネシア共和国バドミントン協会の役員3名の皆様が、当市の体育施設や宿泊施設の視察に訪れました。東京オリンピック事前合宿の誘致を念頭に、秋田県や秋田県バドミントン協会の関係者の皆様にも同席していただき、意見交換会を開催したところ、役員の方より、オリンピック事前合宿地については、年明けの1月頃に決定したい旨、ご発言がございました。当市を事前合宿地としてご決定いただいた場合は、あらためて同国バドミントン協会役員の皆様を当市にご招待し、年度内に事前合宿に関する合意書を締結したいと考えております。

また、意見交換会の際には、今年12月5日から10日にかけて同国で開催される国際交流大会「スーパー・リーグ・ジュニア・バドミントン」に、日本を代表し、秋田県選抜メンバーを編成して出場してほしい旨、ご招待をいただきました。

この大会には、県と連携のうえ、県内の中高生から男女あわせて20人を選抜し出場することとし、当市からは横手北中学校、横手清陵学院中学校、横手城南高校の生徒6人が参加する予定となっております。

今後も、県内在住のインドネシア共和国出身の皆様をはじめ、同国と関係が深い市内企業の皆様との連携を強化し、相互交流を深め

てまいります。

(4)ねんりんピック秋田2017について

9月9日から3日間にわたり開催された「ねんりんピック秋田2017・卓球交流大会」には、全国から70チーム、計492人が参加し、年齢を感じさせない熱戦が繰り広げられました。

会場では、横手やきそばや味付けご飯などを提供したほか、血管年齢測定などができる「健康づくりコーナー」や増田の蔵への「ミニ観光ツアー」など、様々なおもてなし企画を展開いたしました。大会期間中に実施したアンケートには、スタッフのお出迎えの気持ちに対する感謝の言葉や、子どもたちからいただいたお手紙に感激した、などの回答が数多く寄せられ、横手のおもてなしの心を十分に感じ取っていただいたものと感じております。

大会を成功裏に終えることができたことにつきまして、秋田県卓球協会をはじめ運営に携わっていただきました関係者の皆様、応援いただきました市民の皆様に厚く御礼を申し上げます。

(5)障害者支援施設の指定管理者制度の導入について

平成30年度からの指定管理者制度の導入を目指し、手続きを進めておりました障害者支援施設「大和更生園」、「ユ－・ホップハ

ウス」、障害者グループホーム2施設につきましては、社会福祉法人「アヴェク・トワ」から応募があり、横手市指定管理者選定委員会に諮問し審査いただいたところ、当該法人を指定管理者候補者として選定した旨の答申が示されました。

これを受け市では、利用者の皆様への安定的な福祉サービスの提供、収支計画の妥当性、市の非常勤職員の処遇等、様々な観点から検討した結果、指定管理者制度導入による適切な施設運営が期待できるものと判断し、当該法人を指定管理者候補者として選定したところであります。

今後は、12月議会定例会における議決を経て、具体的な手続きに着手し、来年4月の指定管理者制度の導入を図ってまいります。

(6) 農作物の作柄概況について

農林水産省が公表した10月15日現在の水稻予想収穫量及び作柄概況によると、県南地域は10アール当たり576キログラムで昨年度比23キログラム減となり、作況指数は「97」の「やや不良」で推移しております。

一方、11月7日現在におけるJA秋田ふるさと管内の一等米比率は約96パーセントとなっており、昨年度実績を約4ポイント上回っております。このことは、農業者の皆様が、集落一体となった

一斉防除活動や無人ヘリ活用の薬剤散布を徹底されたことなどが、効果を発揮したものと考えております。

また、今年度からは、色彩選別機の導入や個人防除を推進する産業用ドローン資格取得補助制度を実施しており、こうした取り組みを継続しながら、関係団体の皆様との連携を強化し、更なる品質の向上に努めてまいります。

なお、JA全農あきたの今年にあきたこまち60キログラム当たりの概算金は、昨年比1,700円増の13,000円と、3年連続の増額となりました。価格の上昇につきましては、飼料用米生産などに取り組む農業者の増加と、天候不良による全国的な主食用米不足が主な要因と認識しております。

また、平成30年度からは、行政による米の生産数量目標の配分が廃止となり、農業者及びJAなど出荷業者の皆様が主体となって、需要に応じた生産量を決定する仕組みに変更となります。市といたしましては、市農業再生協議会を通じて、JAを始め出荷業者の皆様に米生産の参考目安を提示し、農業者が集荷業者と相談しながら米の生産量を判断できるよう、取り組みを進めていくこととしております。関係者の皆様には今後とも、国や県からの情報を速やかに提供してまいります。

「すいか」につきましては、6月の低温に伴う生育の遅れに加え、

7月の大雨による病気の発生により、大幅な減収も予想されましたが、農業者の皆様の懸命な努力の結果、販売額は約10億7千万円となり、前年実績の80パーセント水準で推移することができました。

収穫が終了した「ぶどう」のJA秋田ふるさとにおける精算済み出荷実績は、10月31日現在、数量が235トン、販売額で9,156万円となっており、現段階においては、前年比約75パーセントの水準となっております。

「りんご」については、主力の「ふじ」の出荷が始まっております。9月以降の天候不順が心配されましたが、収量・単価ともほぼ平年並みに推移しており、今後の販売に期待しているところです。

また、国の「産地パワーアップ事業」を活用し、製造能力の向上を目的にJA秋田ふるさとが整備を進めている「ジュース加工場」につきましては、12月の完成を予定しており、新たな需要にも応えられる設備が整うことで、農業者の皆様の更なる所得向上に繋がるものと期待しているところであります。

県が今年6月の補正予算により、東京中央卸売市場における年間販売量・販売額・販売単価の全国1位を達成目標に創設した「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」については現在、市内の10の経営体を実施しており、新たな技術を活用した栽培施設の整備など、

総事業費約 5 億円を予定しております。県内 1 位のしいたけ生産量を誇る当市においても協調助成などを実施し、県や J A など関係機関の皆様と連携しながら、取り組みを確実に進めてまいります。

(7) 雪対策について

今年度の除雪体制につきましては、例年同様に早期の降雪に備えて、11月1日には出動が可能な体制を構築しております。今冬も、安全な交通の確保と作業事故の防止に向け、効率的できめ細かな除雪作業に努めてまいります。

また、今年度で終了となる横手市総合雪対策基本計画につきましては現在、第2期計画の策定に向け、各地域の団体や関係機関等との相互連携を図りながら、作業を進めているところであります。今後も、「みんなでつくる、安全・安心な雪国 横手」の方針に基づき、雪関連施策の構築に取り組んでまいります。

(8) 横手市公共温泉施設の民間譲渡に向けた取り組みについて

7月の交渉事業者決定後、施設譲渡に向けた調整・協議を経て10月31日、さわらび・ゆーらく・鶴ヶ池荘・雄川荘・えがおの丘・大森健康温泉の6施設について譲渡候補者を正式決定いたしま

した。

「ゆーらく」につきましては、営業形態の変更が予定されておりますが、その他の施設に関しましては、一部、利用料金や営業時間の変更等が見込まれるものの、概ね現在のサービスを継続するとともに、新たなサービスも提供される計画となっております。

なお、民間譲渡に係る関係議案に関しましては、本定例会への上程を想定しておりましたが、共同事業体の候補者が新規法人を設立する予定であるため、その設立までの期間の関係により、1月の臨時議会に上程し、ご審議いただきたいと考えております。

一方、民間譲渡が叶わなかった3施設につきましては、この度の市長選挙を通じ、譲渡候補者のある施設同様、市民の皆様にとりまして、大切な施設であることを改めて認識いたしました。従いまして、今後も民間譲渡に向けた取り組みを継続するため、当面の間は、市において運営してまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、ふるさと納税PR事業、河川等災害関連事業、林

道施設災害復旧事業、などが主な内容となっております。

補正額は、5億8,330万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、543億4,272万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ ふるさと納税PR事業	6,307万5千円
◎ 自立支援給付費	7,822万円
◎ 河川等災害関連事業	2億400万円
◎ 林道施設災害復旧事業	7,200万円
◎ ふるさと応援基金積立金	1億90万円

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件1件、報告案件1件、同意案件3件、条例一部改正案件8件、その他の案件5件、平成29年度一般会計補正予算案など補正議案11件の合計29件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1)石坂洋次郎文学記念館企画展	21
(2)横手市自主文化事業	21
(3)2017イングリッシュ・アドベンチャー	22
(4)就学時健診での「子育て講座」の実施	22
(5)横手市生涯学習関係者研修会	22
(6)第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！	23
(7)市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)	23
(8)第2回よこてシティハーフマラソン	23
(9)第57回奥羽横断駅伝競走大会	23
(10)平成29年度東京かまくら会総会	24
(11)第94回増田の花火	24
(12)第52回りんごまつり	24
(13)第32回首都圏増田会総会	25
(14)浅舞八幡神社祭典	25
(15)健康福祉まつり	26
(16)平鹿地域多目的総合施設 開所式	26
(17)平鹿りんご味覚まつり	26
(18)東京平鹿町会総会並びに交流会	27
(19)雄物川地域徘徊見守り訓練	27
(20)第47回雄物川芸術文化祭	27
(21)大森地域元気なスポレク祭2017	28
(22)大森地域文化祭	28
(23)徘徊見守り訓練	28
(24)「東京都大田区大森」との交流	29
(25)健康の丘おおもりまつり	29
(26)十文字創作館まつり	29
(27)十文字秋の収穫祭2017	30
(28)いものこまつり in 鶴ヶ池	30
(29)さんない古里会総会	30
(30)第40回山内文化祭	31
(31)山内地域子育て支援ネットワーク委員会子育て講演会	31
(32)大雄地域スポーツレクリエーション大会	31

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

(33) 第11回大雄芸術文化祭	32
(34) たいゆう緑花園押し花コンテスト.....	32
(35) 児童虐待・DV防止講演会.....	32
(36) 公立保育所の民営化に係る設置・運営法人の公募について	33
(37) ちびっこわくわくフェスティバル.....	33
(38) 横手市敬老会	33
(39) 横手ものづくりネットワーク会議	33
(40) 第49回よこて菊まつり.....	34
(41) 横手産品海外販路開拓支援事業	34
(42) 上水道事業の実施状況について	34
(43) 下水道事業の実施状況について	35
(44) 横手市創作こども歌舞伎「後三年祝増田蛙會戦」の上演.....	35
(45) 第2回横手市子ども伝統芸能発表大会.....	35
(46) 雄物川郷土資料館第3回特別展「刀剣展～伝統を引き継ぐ～」.....	36
(47) ふるさとの文学と読書のつどい2017 in 横手.....	36

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
まちづくり推進部	<p>(1)石坂洋次郎文学記念館企画展</p> <p>9月9日から12月3日まで、石坂洋次郎文学記念館において、「石坂洋次郎・石川達三展 時代を彩った二人」と題し、横手にゆかりのある石川達三(横手市出身、第1回芥川賞受賞作家)と石坂洋次郎について、同じ時代に活躍した二人の資料展示を行っています。</p> <p>作風は異なるものの様々な共通点を紹介しており、来館者は、横手との関わりなど、興味深く見学しています。</p>
まちづくり推進部	<p>(2)横手市自主文化事業</p> <p>今年度、横手建設株式会社の100周年記念として、未来を担う子どもたちに、素晴らしい音楽に触れる機会を提供したいとのことから、横手市に寄附金を頂戴しました。</p> <p>この寄附金を活用し、横手市民会館において、2つのコンサートを開催しました。</p> <p>◆高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト(9月10日開催)</p> <p>高嶋さんが2006年に立ち上げた“観ても、聴いても、美しく、楽しい”ヴァイオリンアンサンブルのコンセプトのもと、クラシックやポップスなど様々な曲をヴァイオリンでアレンジし、クラシックの敷居の高さを払拭したコンサートです。</p> <p>当日は、ヴァイオリンの音色とともに、高嶋さんの軽快なトークで会場に訪れた900人程のお客様を魅了していました。</p> <p>◆キッズのためのはじめての音楽会(9月24日開催)</p> <p>このコンサートは、0歳児から入場でき、本格的なクラシックコンサートを子どもと大人と一緒に鑑賞することで、コンサートでのマナーや音楽への関心を高め、楽しくコンサートを鑑賞することを目的にヴァイオリニストの奥村愛さんがプロデュースしているもので、市内の子どもたちを中心に無料で招待し、親子含め約460名に鑑賞していただきました。</p> <p>お客様は音楽鑑賞とともに、コンサートでのマナーや楽器の名前を楽しく学んでいました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部	<p>(3)2017イングリッシュ・アドベンチャー</p> <p>9月23・24日、釣りキチ三平の里体験学習館において、「2017イングリッシュ・アドベンチャー」を開催し、市内の小学5、6年生29人が参加しました。</p> <p>本事業は、次期学習指導要領で小学校の英語が教科化されることに伴い、グローバル化に順応できる国際感覚の育成を目的とした事業として、秋田大学横手分校との共催で開催したものです。</p> <p>実施に当たっては、事業の計画立案から当日の英語学習の実施・指導に至るまで、秋田大学の英語科学生と留学生(フィリピン、モンゴル、ケニア、ボツワナ)に務めていただきました。</p> <p>当日は、ゼスチャーを交えた英語の学習や英語で横手市をPRする動画の作成、留学生との交流により生の英語に触れるなど、子ども達の英語学習に対するキッカケになったものと思います。</p>
まちづくり推進部	<p>(4)就学時健診での「子育て講座」の実施</p> <p>10月13日～11月9日、市内の小学校で行われた就学時健診の際に、保護者を対象とした「子育て講座」を実施しました。</p> <p>家庭での教育力向上を目的とし、今の時期に身に付けておきたい習慣、家庭で心掛けてほしいことなど、学校教育指導員らを講師に招き、お話しいただきました。</p> <p>子育てに様々な悩みを抱える保護者たちの中には、涙を浮かべながら聞き入っている姿も見られました。</p>
まちづくり推進部	<p>(5)横手市生涯学習関係者研修会</p> <p>11月22日、山内公民館を会場に「横手市生涯学習関係者研修会」を開催しました。</p> <p>この研修会は、市の生涯学習関係者が一堂に会し、当市におけるこれからの生涯学習の方向を探るとともに、関係者のスキルアップを図ることを目的に毎年開催しています。</p> <p>講演では、企業による生涯学習事業の取組み事例として、秋田銀行が行っている「あきぎん長生き学校の取組み」について、事例発表では、山内地域の奨励員による活動発表や地区交流センター事業の取組み紹介、千本杵餅つきの体験等を行い、今後の地域の活性化を探る有意義な研修会となりました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部	<p>(6)第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！</p> <p>10月1日、男鹿市の特設コースを会場に秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！が開催されました。県内25市町村を代表する34チームが参加し、熱きレースが展開され、横手市チームは市の部で5位でした。</p>
まちづくり推進部	<p>(7)市民スポーツ交流大会(グラウンドゴルフ大会)</p> <p>10月12日、赤坂総合公園グラウンドゴルフ場を会場に、横手市スポーツ推進委員会主催のグラウンドゴルフ大会が開催されました。この大会は、健康増進、生涯スポーツの推進を目的に平成24年から開催されています。当日は、あいにくの小雨でしたが、市内から参加された118名のプレーヤーは相互の親睦と地域の交流を深めました。</p>
まちづくり推進部	<p>(8)第2回よこてシティハーフマラソン</p> <p>10月22日に第2回よこてシティハーフマラソンが開催され、ゲストとしてトヨタ自動車株式会社所属で元・世界陸上マラソン代表の尾田賢典選手と、横手市出身でトヨタ自動車株式会社陸上長距離部の佐藤敏信監督、秋田県出身のAKB48谷川聖さんをお迎えいたしました。</p> <p>北は北海道、南は沖縄県から約1,200人のランナーがハーフマラソン、10km、3km、1.5kmの部門にエントリーし、秋の横手路を駆け抜けました。</p>
まちづくり推進部	<p>(9)第57回奥羽横断駅伝競走大会</p> <p>10月28日から29日にかけて、「第57回奥羽横断駅伝競走大会」が行われました。</p> <p>今回は、北上市役所からスタートし、横手市、由利本荘市までの117.0km全12区間で競技を行い、県対抗、一般、高校、31チームが参加しました。</p> <p>晩秋の奥羽路を襷をつなぎながら疾走する選手に、沿道から大きな声援が送られました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
まちづくり推進部 (横手地域局)	<p>(10)平成29年度東京かまくら会総会</p> <p>9月9日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、首都圏在住の横手地域出身者による「東京かまくら会」総会が総勢130余名の出席で開催されました。</p> <p>横手市から、市関係者、地域づくり協議会委員、商工関係者などが出席したほか、友好都市那珂市の海野徹市長や横手市他地域のふるさと会役員の出席もあり、盛大な会となりました。</p> <p>総会に続く懇親会では、再会を喜び合い、故郷の思い出や地域の現状について語り合う姿が見られました。また、会場内に設置された「物産販売コーナー」は、懐かしい味を買い求める人たちでにぎわいました。</p> <p>最後は、会場一体となって「青い山脈」を歌い、来年の再会を約束して閉会となりました。</p>
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(11)第94回増田の花火</p> <p>大正時代から引き継がれてきた県内随一の開催数を誇る「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で9月14日に開催されました。</p> <p>平日の開催で、しかも台風18号の影響が心配されましたが、最後のプログラムまで雨が降らず、約50,000人の観衆に花火を楽しんで頂き、無事打ち上げされた約5,000発の花火が、県内外から訪れた多くの花火ファンを魅了しました。開催にあたり、今年も多く市民、企業の皆様からご協賛をいただいたことに感謝申し上げます。</p>
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(12)第52回りんごまつり</p> <p>10月22日、一般社団法人増田町観光協会主催による「第52回りんごまつり」が、真人山荘を会場に開催されました。メインイベントのミスりんごコンテストには、市内外から14人の応募があり、うち3人の方が「第52代ミスりんご」に決定しました。今回ミスりんごに選ばれた方には、今後増田地域の観光PR活動などでご活躍いただきます。</p> <p>会場では、りんごの皮むき競争やリンゴの唄コンテストなど、多彩なイベントが催されました。</p> <p>今回は、雨天のため室内での開催となり、来場者は前年より少ない450人程度にとどまりましたが、わざわざ遠方からりんごや野菜の即売を目当てに訪れるお客様もおりました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(13)第32回首都圏増田会総会</p> <p>11月19日、「第32回首都圏増田会総会」が東京都東上野の会場で約130人の参加により、盛大に開催されました。</p> <p>総会では、決算・予算が満場一致で承認されたほか、横手市表彰条例に基づく表彰を受賞した佐藤章会長の表彰式も行われました。</p> <p>交流会では、会員有志による民謡やカラオケなどのアトラクションが披露されたほか、地元の特産品が当たる大抽選会は大変好評でした。</p> <p>会員の皆さんは、ふるさとの地酒や漬物、地元増田から駆けつけたお母さん方の作った郷土料理に舌鼓を打ち、また、物産コーナーでは、ふるさとのお土産や食材を買い求めていました。</p> <p>いつでも帰れるようで帰れなくなったふるさとに思いをはせ、年1回のふるさと会を楽しみしている会員も多く、時には訛り言葉も混じる楽しい会話や笑い声が会場内に響いていました。</p>
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(14)浅舞八幡神社祭典</p> <p>9月16日、17日の2日間にわたり、浅舞八幡神社祭典が開催されました。</p> <p>16日の宵祭りには豪華絢爛な装飾と人形を築山に配した「飾り山車」10台と、「踊り山車」1台が地域局前の目抜き通りに揃い、お囃子、民謡、手踊りの競演が披露されました。</p> <p>地域局前の手づくり屋台村では、地元商店、街商、フリーマーケットが出店して大勢の来場者で賑わいを見せ、フィナーレには花火が秋の夜空を色鮮やかに彩り、訪れた約14,000人の来場者が伝統行事を楽しみました。</p> <p>また、浅舞街部地区会議が中心となり、スタンプラリーや地元の子供たちによる曳き山車体験を実施し、祭りをサポートしました。</p> <p>今後も、地域の伝統文化の継承に努めるとともに地域の活性化を図ってまいります。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(15)健康福祉まつり</p> <p>10月17日、元気の出る地域づくり事業による「福祉健康まつり」が、ゆとり館で開催しました。これは、地域住民の福祉、健康に対する意識の向上を図ることを目的として開催されたもので、当日は206人の来館者で賑わいました。</p> <p>会場では、保健師による健康チェックや、栄養士と横手市食生活改善推進員の協力による健康料理の試食のほか、結核予防婦人会による健診勧奨を行い、来場者に健康への関心を高めていただきました。</p> <p>また、健診で来館した乳幼児238名の写真パネル展示や浴場の無料開放、民謡歌謡ショーを開催し、多くの方々に楽しんでいただきました。</p>
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(16)平鹿地域多目的総合施設 開所式</p> <p>11月1日、平鹿庁舎・平鹿図書館・消防平鹿分署の機能を併せ持つ新庁舎の完成を祝う開所式が関係者など約60名の参加のもと開催されました。</p> <p>開所式では、関係者を代表し、市長・市議会議長・教育長・消防長・庁舎建設委員会会長がテープカットを行い、その後、全員で施設見学を行いました。</p> <p>施設の特徴としては、内装材や外部仕上げ材に県産材を活用するとともに、自然エネルギーの活用として地中熱ヒートポンプや太陽光発電設備を設置して維持管理費の軽減を図ることとしております。</p> <p>また、地域の防災拠点や地域住民が気軽に集える地域交流の場として親しみある施設を目指します。</p>
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(17)平鹿りんご味覚まつり</p> <p>11月3日、「第17回平鹿りんご味覚まつり」が、ときめき交流センターゆっふるを会場に開催されました。</p> <p>このイベントは平鹿りんごを県内外へPRし、消費拡大につなげるため、関係自治会、JA秋田ふるさと、県果樹試験場、醍醐地区会議の協力により開催しております。</p> <p>当日は醍醐保育園児による太鼓演奏で開会し、餅まき、りんごを使用したクイズやゲームなどが会場を盛り上げました。</p> <p>また、会場内のテント村では地元農産物の直売や、隣接した特設りんご園でのりんご狩り体験などが行われ、賑わいを見せておりました。</p> <p>温泉施設「ゆっふる」では、甘い香りのりんごを温泉に浮かべた「りんご風呂」も大変好評で、多くの来場者に深まり行く秋の一日を楽しんでいただきました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(18)東京平鹿町会総会並びに交流会</p> <p>11月12日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第43回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催され、来賓や会員130人が出席しました。</p> <p>交流会では、地酒や地域の特産など、ふるさとの味を堪能しながら地場産品の当たる抽選会や余興などで会員同士交流を深めました。</p> <p>また、会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」は、地酒、漬物、昆布、豆腐カステラなど、ふるさとの懐かしい品々を会員が近況を話題にしながら購入されておりました。</p> <p>今後もふるさと会と連携し、地域の活性化に一躍を担っていただけるよう交流を深めてまいります。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(19)雄物川地域徘徊見守り訓練</p> <p>10月19日、里見地区交流センターを会場に「雄物川地域徘徊見守り訓練」を開催しました。認知症に対する正しい知識と対処法を学び、徘徊者とその家族を見守る地域のネットワークの向上を目指すことを目的に各地区で順次開催しているもので、今年で5回目となりました。</p> <p>社会福祉協議会雄物川福祉センター、民生児童委員、介護事業所、警察署雄物川駐在所、消防署雄物川分署などの協力により、地域住民を合わせて75名の参加がありました。</p> <p>認知症サポーター養成講座では、職員による寸劇に会場が大いに盛り上がり、講演では徘徊者への声のかけ方を学び、その後実際に外に出て徘徊者役への声掛けを体験しました。</p> <p>また、日赤雄物川支部による炊き出し訓練も行われ、参加者にも炊き方を学んでもらう良い機会となりました。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(20)第47回雄物川芸術文化祭</p> <p>10月27日から29日までの3日間、雄物川コミュニティセンターを会場に「第47回雄物川芸術文化祭」が開催されました。</p> <p>これは雄物川芸術文化協会主催で行われたもので、小学生の部388点、一般の部315点、雄物川町芸術文化協会所属団体の部161点の合計864点の作品が展示されました。</p> <p>29日の芸能発表では11団体164人が出演し、多くの観客を前に日頃の稽古の成果を披露しました。また、特別出演として地元雄物川小学校合唱部、雄物川高校吹奏楽部が日頃の鍛錬の成果を発表しました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(21)大森地域元気なスポレク祭2017</p> <p>10月7日に「大森地域元気なスポレク祭2017」を開催しました。あいにくの天候により、会場は大森体育館となりましたが、スペシャルゲストに超神ネイガーを迎え、保育園児を中心に集まった約300名が様々な種目に挑戦しました。イベントは可愛らしい「幼児ダンス」に始まり、多くの皆さんが参加した「パン食い競争」のほか、「紙飛行機飛ばし」や「玉入れ」などのスポーツレクリエーションゲームを親子で楽しみ、スポーツの秋を満喫しました。</p>
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(22)大森地域文化祭</p> <p>10月21日～29日の9日間、第46回大森地域文化祭が大森コミュニティセンターで開催されました。会場には、市民の力作の書道や押絵、生け花などの作品のほか、大森小学校児童の自由研究作品や絵画が展示され、来場者は表現豊かな数々の作品に見入っていました。期間中には、「JA秋田ふるさと秋まつり」と大森町芸術文化協会会員45組による「芸能発表会」が行われ、ステージ上での熱のこもった民謡ショーや踊りには、来場者より惜しみない拍手が送られていました。</p>
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(23)徘徊見守り訓練</p> <p>認知症などによる徘徊者を早期に発見し、事故を未然に防止する取り組みとして、徘徊見守り訓練が10月23日に開催されました。大森地域の各地区を対象に順次開催しているもので、今年は前田地区を対象に地区住民、民生児童委員、婦人会など約50人が参加しました。</p> <p>当日は台風による悪天候のため、会場を前田公民館に変更し、保健師による認知症の講話、声かけの練習を行いました。参加者らは、徘徊による行方不明や事故等のニュースを聞くことが多くなったということで、熱心に耳を傾けていました。</p> <p>終了後は日赤大森分団による炊き出し訓練も行われ、いざという時のための充実した訓練となりました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(24)「東京都大田区大森」との交流</p> <p>大田区大森とは、地名が縁で小学生交流や物産販売を平成6年から続けています。10月27日に大田区大森町共栄会商店街での農産品販売、11月4～5日は「OTAふれあいフェスタ2017」にて、安全・安心な「秋田・大森産農産物」をPRするとともに、共栄会商店街事務局と交流を深めました。</p> <p>「秋田・大森産農産物」を待ち望んでいる区民の方も多く、各販売会はもちろん、野菜宅配便の受注も増加しております。</p>
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(25)健康の丘おおもりまつり</p> <p>10月28日(土)に大森病院、保健センター、南部シルバーエリアを会場に、健康の丘おおもりまつりが開催されました。健康の丘おおもりにある施設が一体となって健康づくりについてPRしようと、昨年度より「大森病院祭」「健康まつり」「エリア秋の祭典」を同日開催しているものです。</p> <p>当日は約650人のお客様が訪れ、大森病院・保健センター会場では小野剛院長の講演や健康相談、医療・介護機器の展示などが行われ、南部シルバーエリア会場では、大森元気大使・小田島純子さんによる民謡ショーや施設利用者の作品展示、また、テレビで活躍されている高木美保さんの講演会などが行われ、来場者はさまざまな催しを思い思いに楽しんでいました。</p>
まちづくり推進部 (十文字地域局)	<p>(26)十文字創作館まつり</p> <p>10月28日、十文字農家高齢者創作館において創作館まつりが開催されました。農家の高齢者が仲間づくりを通じて生きがいのある生活を送れるよう、昭和52年に建設された当初より開催されており、40回目の記念の開催となりました。</p> <p>創作館で制作された「ごてんまり」や手芸・陶芸の作品展示と共に、地域の介護施設の入居者が制作した作品も展示されました。</p> <p>ステージでは、保育園児による「よさこい」の披露や、地域住民によるプロ顔負けの歌や踊りが発表され、大いに盛り上がり、又、外で行われた餅つきや地元野菜の即売、焼き鳥、うどん・そば等の屋台も天気に恵まれ盛況で、恒例の餅まきまで、訪れた180人の来場者は楽しい秋の一日を過ごしました。</p> <p>交流センター化後初めての創作館まつりであり、スタッフの充実と来場者の増加が図られ、地域の賑わいと世代を越えた交流の場となりました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (十文字地域局)	<p>(27)十文字秋の収穫祭2017</p> <p>11月4日と5日、道の駅十文字を会場に「十文字秋の収穫祭2017」が開催されました。初日の4日は小雨模様でしたが、5日は晴れ間も見え、2日間で4,900人が訪れました。新そばと新米の試食会が行われたほか、市内外のよさこい16チームによるパフォーマンスが披露され会場は熱気に包まれました。最後に行われたお菓子まき・麺まき・餅まきには子供から大人まで参加し、大いににぎわいました。</p>
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(28)いものこまつり in 鶴ヶ池</p> <p>9月17日、山内地域の活性化と産業振興を図るため、「第31回いものこまつり in 鶴ヶ池」が鶴ヶ池公園ふれあい広場を会場に開催され、約32,000人の来場者でにぎわいました。</p> <p>当日は「いものこ」をはじめとした特産品の販売が行われ、山内名物の「いものこ汁」は、用意した4,000食が完売するなど大盛況となりました。</p> <p>また、全国いものこピラミッド競技大会には、市内外から36組が出場し熱戦が繰り広げられたほか、地元の芸術文化協会の歌や踊り、市内4団体のよさこい演舞や、タレントによるものまね、歌のステージショーが行われるなど、多彩なイベントが会場を盛り上げました。</p> <p>夜の花火大会では、台風接近により開催が危ぶまれましたが、無事実施され、鶴ヶ池の水面を彩る迫力満点の水中花火、スターメインなど約3,800発の花火を楽しんでいただきました。</p>
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(29)さんない古里会総会</p> <p>11月4日、「第30回さんない古里会総会」が東京都内で開催され、129人が参加しました。</p> <p>今回は、30回記念総会ということもあり、懇親会のアトラクションとして地元の御嶽清流太鼓と高橋一郎さんが太鼓と民謡を披露したほか、古里会の記念事業として「いものこ汁」の振る舞いも行われ、会場は山内色満載となり、大いに盛り上がりました。</p> <p>総会には、横手市から山内地域づくり協議会の委員4人のほか、中学校の同期会でチラシ配付し、会員の勧誘に協力していただいた同期会実行委員や市民の方々など、合わせて9人が参加し、会員の皆様との交流を深めました。</p> <p>参加者は久しぶりの再会とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、「ふるさと物産展」も開催され、大変好評でした。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(30)第40回山内文化祭</p> <p>10月21～26日、山内体育館を会場に「第40回山内文化祭」が開催され、364人に参加いただきました。絵画、書、木工品などの展示部門には、園児・小学生・中学生から214点、一般から232点の合計446点の作品が出展されました。</p> <p>21日の芸能発表では、10団体72人が日頃の鍛錬の成果を披露し、会場に詰めかけた観客から盛んな拍手が送られていました。</p>
まちづくり推進部 (山内地域局)	<p>(31)山内地域子育て支援ネットワーク委員会子育て講演会</p> <p>10月14日、山内中学校体育館を会場に、旧山内村民歌の作曲を手掛けられたシンガー・ソングライターさとう宗幸氏による子育て講演会が開催されました。</p> <p>これは、今年度末で閉校となる山内中学校の閉校記念事業の一環として、山内地域子育て支援ネットワーク委員会と同校閉校記念事業実行委員会との共催により開催したもので、小・中学生とその保護者、地域住民など約400人が集まりました。</p> <p>「さとう宗幸・トーク&ライブ～ふれあいのときを求めて」と題した講演は、旧山内村民歌「豊かなる山河」の歌唱で幕を開け、ご自身の少年時代や幼なじみの空手家のエピソードのほか、「青葉城恋唄」「おもの川」「花は咲く」など数曲の歌も交えて、生きていることの素晴らしさや夢を持ち努力することの大切さなどを語りかけました。</p> <p>また、講演後には山内小・中学校の児童・生徒が、合併後も歌い継いできた「豊かなる山河」の合唱を披露して、講演に対する感謝の意を伝えると、その歌声に感激したさとう氏は声を詰まらせながら「作曲者冥利に尽きる」と感想を述べ、心温まる思い出深い講演会となりました。</p>
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(32)大雄地域スポーツレクリエーション大会</p> <p>10月7日、大雄農業者トレーニングセンターを会場に「大雄地域スポーツレクリエーション大会」が開催されました。</p> <p>この大会は、地域住民の健康増進と世代間交流を目的に、「スポーツフェスタたいゆう」のメイン行事として、横手市体育協会大雄支部、大雄地域スポーツ推進委員と大雄地域づくり協議会を中心とした実行委員会が開催しているものです。</p> <p>当日は、地域住民約500人が参加し、それぞれの競技に気持ちよい汗を流しました。また、婦人会と火災予防組合による、炊き出し訓練が行われ、スポーツを楽しんだ参加者にいものこ汁が振る舞われました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(33)第11回大雄芸術文化祭</p> <p>10月20日から24日までの5日間、大雄交流研修館と大雄農業団地センターを会場に、大雄芸術文化祭実行委員会主催の「第11回大雄芸術文化祭」が開催されました。</p> <p>20日から行われた作品展示には、写真や書道をはじめとする力作90点余りが展示され、多くの皆様に鑑賞していただきました。</p> <p>また、21日にはステージ発表が行われ、約200人の観客を前に34組の団体と個人、延べ151人が日頃の稽古の成果を披露しました。</p>
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(34)たいゆう緑花園押し花コンテスト</p> <p>たいゆう緑花園の花々を押し花にし、心に残る一言を書き添えた絵手紙のコンテストを実施しました。「押し花に心をそえて・・・」をキャッチフレーズとしたコンテストは今年で12回目となります。市内外から187点の応募があり、11月18日に審査会を開催し、中学生以上の「大人の部」と小学生以下の「子供の部」で、それぞれ特選1点、準特選1点、入選3点を決定しました。</p> <p>これらの応募作品は、来年1月末日まで「ゆとりおん大雄」に展示いたします。</p>
健康福祉部	<p>(35)児童虐待・DV防止講演会</p> <p>11月は、国の「児童虐待防止推進月間」及び県の「DV防止推進月間」です。これに合わせて、11月5日に平鹿生涯学習センターを会場に、児童虐待やDVのない社会を目指すことを目的として「児童虐待・DV防止講演会」を開催しました。</p> <p>当日は、落語家の林家木久蔵さんを講師に迎え、「木久蔵流、がんばらない子育て」と題し、ご自身の子育て経験や、父である林家木久扇さんとの思い出などを交えながら、ユーモアたっぷりのお話をいただきました。会場に集まった約80人の皆様を笑いで包み、心に抱いている子育ての悩みをふっと軽くしてくれた、そんな講演会になりました。</p> <p>また、11月3日には、国際ソロプチミスト横手の協力をいただき、イオンスーパーセンター横手南店にて啓発チラシの配布を行いました。来店した多くの皆様に、児童虐待防止及びDV防止の意識の高揚を図る機会となりました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
健康福祉部	<p>(36) 公立保育所の民営化に係る設置・運営法人の公募について</p> <p>今年3月に策定した「横手市教育・保育施設整備計画及び公立保育所民営化計画」に基づき、平成32年度に民営化への移行を予定している施設について、整備・運営を行う移管先法人の公募を10月10日から開始しました。公募対象施設は、「たいゆう保育園」及び「植田・睦合保育所の2施設を統合する新保育所」の2件です。</p> <p>応募期間は12月8日までとし、その後、選定委員会による応募書類及びプレゼンテーション審査を経て、年度内に移管先法人を決定する予定です。</p>
健康福祉部	<p>(37) ちびっこわくわくフェスティバル</p> <p>9月3日、横手市交流センター／Y2ぷらざ 1階オープンスペースにおいて、市内の子育てサークル等が主体となり、「ちびっこわくわくフェスティバル」を開催しました。当日は510人の親子が来場し、楽しい工作コーナー、絵本の読み聞かせ、子どもおみこしなどを楽しみました。</p>
健康福祉部 まちづくり推進部	<p>(38) 横手市敬老会</p> <p>8月30日から9月30日にかけて、市内14会場で横手市敬老会を開催しました。この事業は毎年9月に、75歳以上の方を対象に開催しており、今年は全地域合わせて3,265人に参加いただきました。</p> <p>各地域では、子どもたちの歌や踊り、各団体によるアトラクションなど、会場ごとに趣向を凝らした出し物が披露され、対象者の皆様の長寿をお祝いするとともに、地域の発展に寄与された長年のご労苦に対する感謝が伝えられました。</p>
商工観光部	<p>(39) 横手ものづくりネットワーク会議</p> <p>11月17日、当市の産業振興を活性化するため、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において、第5回横手ものづくりネットワーク会議を開催しました。</p> <p>当日は50企業、15団体から105名の参加があり、当市のプレゼンテーション、市内企業2社によるプレゼンテーション及び横手市産業振興アドバイザー佐藤登氏を交えたディスカッションに引き続き、横手市産の食材を使ったビュッフェ形式による交流会を開催し、情報交換を行いました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部	<p>(40)第49回よこて菊まつり</p> <p>第49回よこて菊まつりが10月28日から11月6日までの10日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催されました。</p> <p>会場内では約2,500鉢の菊花が展示されたほか、約500点の鉢植えを並べ、可愛い「秋田犬」を玉菊でアートし、訪れる観光客を魅了しました。</p>
商工観光部	<p>(41)横手産品海外販路開拓支援事業</p> <p>海外販路開拓支援事業のうちタイ王国への輸出支援事業については、昨年度より市場調査を行い、今年度、輸出候補商品のタイ保健省への輸出許可事務を進めてまいりました。</p> <p>また、この間、現地バイヤーとのコネクションの構築、事業者の貿易実務の理解、習得にも取り組み、11月9日から12月9日までの31日間の予定で、バンコク市内の高級デパートで開催されているジャパンローカルフェアに初めて横手産品4品目を出展しております。</p> <p>期間中の11月9日から13日までは、事業者が自らの商品についてPR販売を行うなど、同国での横手産品の認知度向上と事業者の販路拡大に向けた取り組みを支援しております。</p>
上下水道部	<p>(42)上水道事業の実施状況について</p> <p>今年度実施している水道配水管整備事業については、市内29カ所で実施しており、12月中旬までに雄物川矢神地区配水管布設工事など17カ所が完了予定です。冬期間も実施する工事については、関係者との協議や施工管理の徹底により、安全な工事に努めてまいります。</p> <p>また、「横手市水道事業計画変更」については、将来的な社会情勢の変化をふまえた計画を策定中です。水道事業に係る課題の抽出や施設整備の方向性などを検討し、短期、中期、長期に必要な事業の考察により、整備計画案の作成を行っています。引き続き、水道事業経営戦略との調整を図り整備計画及び財政計画を進め、持続できる水道事業としての変更計画を年度内に完成させます。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
上下水道部	<p>(43)下水道事業の実施状況について</p> <p>今年度実施している下水道管渠築造工事については、三枚橋土地 区画整理事業地内及び平鹿馬鞍地区において工事が完了し、横手伏 山・六ノ口地区及び平鹿石成地区は1月、横手三本柳地区は2月に完 了する予定です。</p> <p>また、昨年度策定した「横手市生活排水処理構想」に基づく下水道事 業計画の変更については、県と調整を進めており、今後都市計画決定 の告示・縦覧、下水道事業計画変更承認申請を行う予定です。</p>
教育総務部	<p>(44)横手市創作こども歌舞伎「後三年祝増田蛙會戦」の上演</p> <p>9月23日に「横手を学ぶ郷土学」の関連事業として、増田小学校体育 館を会場に金沢陣館国史跡指定記念公演、横手市創作こども歌舞伎 「後三年祝増田蛙會戦」が上演されました。</p> <p>市内の7小中学校の児童生徒と地元の保育園児が稽古の成果を披 露し、歌舞伎の芝居小屋さながらに飾り付けられた体育館につめかけた 400名もの観客は、市食生活改善推進協議会によるいもの子汁のふる まいを受け、横手らしさを随所に盛り込んだ本格的な舞台を通して、後 三年合戦の世界を堪能していました。</p> <p>12月10日に小坂町で行われる「康楽館演劇祭」に参加予定です。</p>
教育総務部	<p>(45)第2回横手市子ども伝統芸能発表大会</p> <p>10月22日に「横手を学ぶ郷土学」事業として、第2回目となる横手市 子ども伝統芸能発表大会を横手市民会館にて開催しました。</p> <p>横手神明社神前神楽保存会ははじめ市内5団体の伝統芸能団体が出 演し、日頃の保存継承活動の成果を披露するとともに、お互いの演目を 鑑賞しながら交流を深め、躍動感のある囃子や豪華な本装束で厳かに 舞われる神楽などに、200名の参加者は伝統芸能の素晴らしさを再認 識していました。</p>

平成29年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
教育総務部	<p>(46)雄物川郷土資料館第3回特別展「刀剣展～伝統を引き継ぐ～」</p> <p>雄物川郷土資料館では、第3回特別展として10月7日から12月17日までの会期で「刀剣の世界 ～力強さと繊細さ～」を開催しています。</p> <p>11月5日までを前期として、北海道・東北で現在作刀している刀匠の作品を25振展示するとともに抜刀演武や刀匠のお話を聞くイベントを開催し、日本刀の理解を深めていただきました。</p> <p>11月11日からは、後期として地元愛好家が所蔵する鎌倉時代から江戸時代の刀剣や刀装具の展示を行っております。後期も展示解説などを行い、刀剣についての理解を深めていただいております。</p>
教育総務部	<p>(47)ふるさとの文学と読書のつどい2017 in 横手</p> <p>10月28日平鹿生涯学習センターにおいて、秋田県との共催による「ふるさとの文学と読書のつどい2017 in 横手」が開催されました。この事業は、都道府県で唯一読書活動の推進に関する条例を制定している秋田県が、県民読書の日に関連事業として実施し今年で2回目になります。</p> <p>第4回を数える「ふるさと秋田文学賞」の表彰式、高校生による第2回ふるさと秋田文学賞受賞作品の朗読、「若者を引き込む読書の魅力とは」と題した座談会が行われ、約350人の来場者で正に読書の秋にふさわしいつどいになりました。</p> <p>特に座談会では、横手市十文字町出身のタレント壇蜜さんにも出演いただき、読書を通じた有意義で和やかな会にすることができました。</p>